

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	コンビニ（副店長）	販売量の動き	・今月前半は例年の梅雨よりも豪雨が続き客足が遠のいていたが、梅雨明け以降は来客数も増え、それに伴い販売量も増えてきている。
	◎	その他専門店 [陶器]（製造）	販売量の動き	・土日などは来客が増えているようで、販売数も増えている。
	◎	観光型ホテル （企画担当）	販売量の動き	・ホテルの3月の販売室数が前年比4%増加なのに対し、6月の販売室数は前年比152%増加と、プラス幅が大きくなっている。
	○	一般小売店 [酒]（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数は横ばいであるが、重症者数が減少しているため観光が盛り上がりつつある。今から観光客の来県は増えるとみている。
	○	百貨店（店舗企画）	来客数の動き	・6月は前年の営業制限による一部休業を余儀なくされた宝飾関連の落ち込みから、本年は反動増により売上の底上げが図れている。上旬から物産展催事による集客は拡大できているが、中旬まで日々雨続きとなり、期待より下回ったが、梅雨明けの下旬から客足が戻り、回復傾向にある。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・セールの効果などもあり、前年同期と比べると売上が増加している。
	○	乗用車販売店 （経理担当）	来客数の動き	・大型イベントへの来場者数が想定以上である。
	○	その他飲食[居酒屋]（経営者）	来客数の動き	・観光客が増えてきていることや、地元客は会食は4人2時間以内の制限が緩められて、徐々に地元の会社員も戻ってきている。週末の売上は新型コロナウイルス発生前の70%、平日は50%程度戻ってきている。これからの夏の観光シーズンに感染拡大しないことを祈る。
	○	観光型ホテル （代表取締役）	来客数の動き	・宿泊客が増えている。ただし、2019年比の50%程度である。飲食宴会はまだ少ない状態が続いており、2019年比の40%程度である。
	○	旅行代理店（マネージャー）	お客様の様子	・少しずつ出張や個人旅行の手配が増えてきている。しかし、依然として新型コロナウイルス新規感染者数は増えているため先行きは不安である。
	□	衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・沖縄の場合、6月前半は梅雨真ただ中ということで売上は落ちると予想していた。後半は梅雨も明け、景気は上向くと考えていたが、予想よりは来客数が伸びていない。
	□	住宅販売会社 （代表取締役）	お客様の様子	・住宅相談件数が減少傾向にある。とくに投資案件の建築相談において顕著である。
	□	住宅販売会社 （役員）	来客数の動き	・分譲マンション、一戸建て住宅の来客数は、まだまだ良いとはいえない。物価上昇や金利上昇の懸念があり得る。
	▲	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数が前年比5%以上減少と厳しい状況である。社会全体の新型コロナウイルス感染症に対する意識の変化もみられ、外食やレジャーなど、外出する機会が増えているように見受けられる。そのため、スーパーへの来店頻度が前年と比べ減ったことが、来客数減少の大きな要因となっている。
	▲	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売数が前年の75%と落ち込んでいる。手続がオンラインに流れ端末の取替え周期も長くなっていることから、店頭で足を運ぶ機会が少なくなっていると考えられる。商業施設などに出張して、販売に力を入れるなどの対策を行っている。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響でまだまだ上向きにはならず、来客数も減っているが、ここ1週間前くらいから会食の人数と時間の制限が解除になっているので、今後は少し良くなるかなと期待をしている。	
企業 動向 関連  (沖縄)	◎	－	－	－
	○	－	－	－
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・見積りに頼りに大きな変化はなく、生産量、販売量ともに横ばいの状況が続いている。

(沖縄)	▲	食料品製造業 (役員)	受注価格や販売 価格の動き	・売上については、4月以降好調に推移し、県外からの沖縄関連食材の引き合いも増えている。一方で、原油高、円安による売上原価の上昇が続き、販売価格への転嫁が追い付かない状況で内容的に厳しい。
	▲	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新築の契約がバタッと止まっている。
	▲	輸送業(経営企画室)	それ以外	・6月から原油価格の高騰などによる飲食店やスーパー等小売店の値上げが始まり、受注数量が減少傾向にある。
	×	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	職業安定所(職員)	求人数の動き	・観光関連の求人数が増加している。併せて人手不足の状況で、求人に応募がないという問合せも増えている。
	○	学校[専門学校] (就職担当)	採用者数の動き	・ビジネス系、デザイン系のBPO企業より、採用予定数の引上げや新規での大量採用の情報が入ってきている。今後新たな求人募集となる可能性が高い。
	□	人材派遣会社 (総務担当)	求職者数の動き	・求人数は増加しているが、求職者の動きが鈍い。給与単価の高い求人に応募が多い。
	▲	求人情報誌製作 会社(営業)	求人数の動き	・求人数の減少を予測はしていたが、予測ほどの減少幅ではなく微減程度となっている。3か月前と比較するとやや悪くなっているものの、前年同月比では150%となっており求人活動は活性化していることがうかがえる。
	▲	学校[大学] (就職支援担当)	周辺企業の様子	・世界情勢における燃料費の高騰や円安のニュースなどのマイナス要因が企業側から聞こえてくる。
	×	—	—	—